

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十七年文月



拝啓 盛夏の候となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。



今年、ご当地、静岡市では徳川家康公顕彰四百年と日韓国交正常化 50 周年を記念してさまざまな事業が執り行われております。先月 19 日には**朝鮮通信使と徳川未来学会の講演会**が開催されました。これは日韓交流の歴史に対する理解を深めることを目的に、在横浜大韓民国総領事館、静岡商工会議所、徳川未来学会の 3 団体が共催したものです。葵区の会場に静岡市長、朱横浜総領事、徳川宗家第 18 代当主をはじめ日韓の学識経験者が集いました。と、お堅い話はここまで、シンポジウム終了後

は会場を興津清見寺に移して懇親会となり、わが臥龍梅の出番です。ご挨拶に立った朱総領事が「実はこの会に先立って既に三和酒造さんにお邪魔して臥龍梅をいただいてまいりました」と話されると会場は喝采に包まれました。弊社に会場されたおりのことは先月の蔵便りにご報告したとおりです。その時に、全国新酒鑑評会の金賞受賞酒に興味を持たれておりましたので、今回ご用意しておいたところ大変喜んでくださいました。金賞受賞の大吟醸に加え備前雄町の純米大吟醸を用意したところ、会の終了後、テーブルのお酒はきれいに売り切れておりました。その翌日 6 月 20 日には池袋のサンシャインシティで開かれた**日本酒フェア**に出掛けました。このイベントも年ごとに人気が高まってきているようで、当日券を買う人が延々と列を作っているのにはびっくりしました。以前は業界関係者だけの関心事だったのが、一般の人にも人気が浸透してきているようで、日本酒に対する関心が高まっている証左で、誠に有り難いことです。わが臥龍梅はめでたく金賞を受賞しましたが、静岡県では弊社一社のみ。東北勢や関東勢の健闘ぶりに較べるとちょっと残念です。きき酒して廻るほどに、頑張って美味しい酒を醸している蔵が全国にはこんなにあるのか、よりいっそう精進を重ねていく気構えが必要だと痛感いたしました。さて、**第 6 回臥龍梅を愉しむ会**の開催も間近に迫ってまいりました。**8 月 2 日(日)、受付 11:10、開宴 11:30、会場は江東区清澄庭園、大正記念館、会費 ¥4,000**です。菅原杜氏を始め、従業員一同でご愛飲家の皆様をおもてなしする恒例のイベントです。まだ若干お席に余裕がございますので、ご興味をお持ちの方は是非ともお早めにお申込みください。**(ご連絡先 TEL 054-366-0839 三和酒造(株))**



さて、今月は夏のご進物用商品として**山田錦 35%精米の純米大吟醸 袋吊斗壺囲い**をご案内いたします。臥龍梅の最高峰と自負する数量限定商品です。お見逃しなく！

暑さのおりから、くれぐれもおからだをお大事に。

平成 27 年 7 月 吉日



敬具
鈴木 克昌